

世界三聖人の死

世界の三聖人とは、**釈迦**、**孔子**、**キリスト**をさします。**釈迦**は北インドの王族の子として紀元前5世紀半ばに誕生しました。29才で出家し、35才で悟りを開いて**仏陀**(法を悟った覚者)となり、**80才**に達した彼は、沙羅双樹の木の下に設けられた床に横たわり、高弟・従者の見守るなかで「悲しまなくてもよい。私が説いた教えと戒律が、死後のお前たちの師となるだろう。一切は過ぎていく。怠ることなく修業に励みなさい」と語りつつ、**静かに入寂**されました。

孔子は釈迦の誕生より11年後に、中国山東省の小さな村で生まれました。3才で父と死別し極貧の中で成長しました。30才で政治家として立つ志を抱き、**40才半ば**に魯の国で**官位**につき、**礼の教え**をもって理想の国家を作り上げようとしました。しかし56才で失脚。**68才**より**学問**で後進の指導に当たる使命に立ち、3000人を超える弟子に教えました。**74才**に達し、渭水という河を見たいといい「すべてのものはこのように流れていく。夜もなく、昼もなく」と言って、子貢に看取られつつ、**運命**という大河に身を委ねて、**静かに息**を引き取りました。

キリストは紀元前6年頃、ローマ帝国の片隅ユダヤのベツレヘムの宿屋の家畜小屋で誕生しました。**30才頃**に神の召しを受けて宣教活動を開始しましたが、**3年程**でユダヤ教の指導者たちから危険人物視されて訴えられ、ローマ総督から極悪の犯罪者が受ける**十字架刑**に処せられてしまいました。

キリストは朝9時、十字架に手足を太い釘で磔られ、6時間も**死の苦しみ**を味わい、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」と叫び、午後3時頃に息を引き取られ、墓に葬られました。しかし3日目の朝、墓より**復活**し、40日間弟子たちの信仰を確立して、**昇天**されました。

十字架の死の恵み

キリストは貧しい者、苦しむ者、嘆き悲しんでいる者、虐げられている弱い者を、**優しい愛**をもって寄り添い、惜しみなく**救い**の手を差し伸べてました。**病人**や**障害者**を癒されたばかりでなく、**死んだ者**をも蘇らせて、悲しみにくれている家族に戻して下さいました。隔ての無い**豊かな愛**そのものの生涯を送られたのです。多くの人が彼の許に集ってきました。

しかしキリストは、自分が十字架に磔になって死ぬことを、神から与えられた**使命**として自覚し、弟子たちには繰り返し予告しています。そして大祭司や総督の**不当な裁判**をそのまま受けて、死んでいかれました。

以前のことで、私の友人が、**独り娘**を自殺で失いました。

娘は親の反対を押し切って**17才**で結婚しました。しかし**7ヶ月**で心身ともに疲労しきって、親許に戻って来ました。親子でよく話し合い、もうこれ以上結婚生活を続けるのは無理だと本人も納得しました。次第に明るさを取り戻して来た矢先に、**相手**から電話がかかってきました。

すると娘は親の引き止めを振り切って飛び出していきました。眠れぬ夜を明かした親は、次の朝アパートに様子を見に行き、外から室内の話し合う声を確認して帰ってきました。ところがその10時間後に、娘はアパートで独り命を断ってしまったのです。父親は**悲しみ**と**絶望**のどん底に呻吟しました。

ある朝のことです。彼の心にキリストの叫び「**わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか**」が響いてきたのです。キリストは弟子**ユダ**の裏切りで逮捕されました。人間として不誠実の極みです。ユダは後悔して**自殺**しました。しかしキリストはそのような**人間の弱さ、罪深さ**をご存知で、彼のその罪を我が身に引き受けて十字架について居られたのでした。

友人はユダを自殺させてしまった**キリストの心**に気が付きました。キリストは、神から見捨てられたと**絶望**した**ユダ**と一つになって、**ユダの叫び**を一緒に叫んで下さっていたのです。「私は心のどこかで**神に捨てられたら一切はお終いだ**と思っていた。しかしキリストは**娘と私の悲しみ**と一つになって祈って下さっている。私も娘も神から捨てられていないことが分かった」と手紙が来ました。

十字架に示されたキリストの**愛**、死よりの**復活の恵み**——これがキリスト教信仰の核心です。